



大阪大学理学研究科 技術部の10年の歩み

古木 良一



自己紹介

● 経歴

- ・昭和48年度(1973) 大阪大学溶接工学研究所配属
- ・平成8年度(1996) 大阪大学理学部配置換
- ・平成13年度(2001) 大阪大学低温センター豊中分室兼任
- ・平成20年度(2008) 理学研究技術部副技術長
- ・平成23年度(2011) 理学研究技術部技術長
- ・平成26年度末(2014) 定年退職



KEK技術部・技術職員との関わり

- 平成15年度(2003) 電子出版講習会
- 電子出版作業の習得
- 技術研究会及び技術職員シンポジウム参加
- 平成16年度(2004) 電子出版講習会(阪大)
- 平成17年3月 平成16年度大阪大学総合技術研究会
- 平成18年度(2006) シンポジウムでポスター発表
- 平成20年度(2008) シンポジウムで座長・意見交換会議長

平成15年～今回までに	シンポジウム	9回	参加
	技術研究会	2回	参加





理学研究科技術部の歴史

国大協 組織モデルの提起

- 昭和62年度(1987)

第1回技官会

部局単位の組織導入

- 平成2年度(1990)

第1回技術部会

- 平成4年度(1992)

第1回技術部運営委員会

第1回技術職員研修

- 平成8年6月

古木の配置換え

- 平成9年度(1997)

技術専門職(専門官・専門職員)の導入

- 平成16年度(2004)

国立大学法人化

- 平成17年3月

平成16年度大阪大学総合技術研究会

- 平成18年度(2006)

技術部4室体制

- 平成24年度(2012)

第100回技術部会

- 平成26年度(2014)

第23回技術職員研修



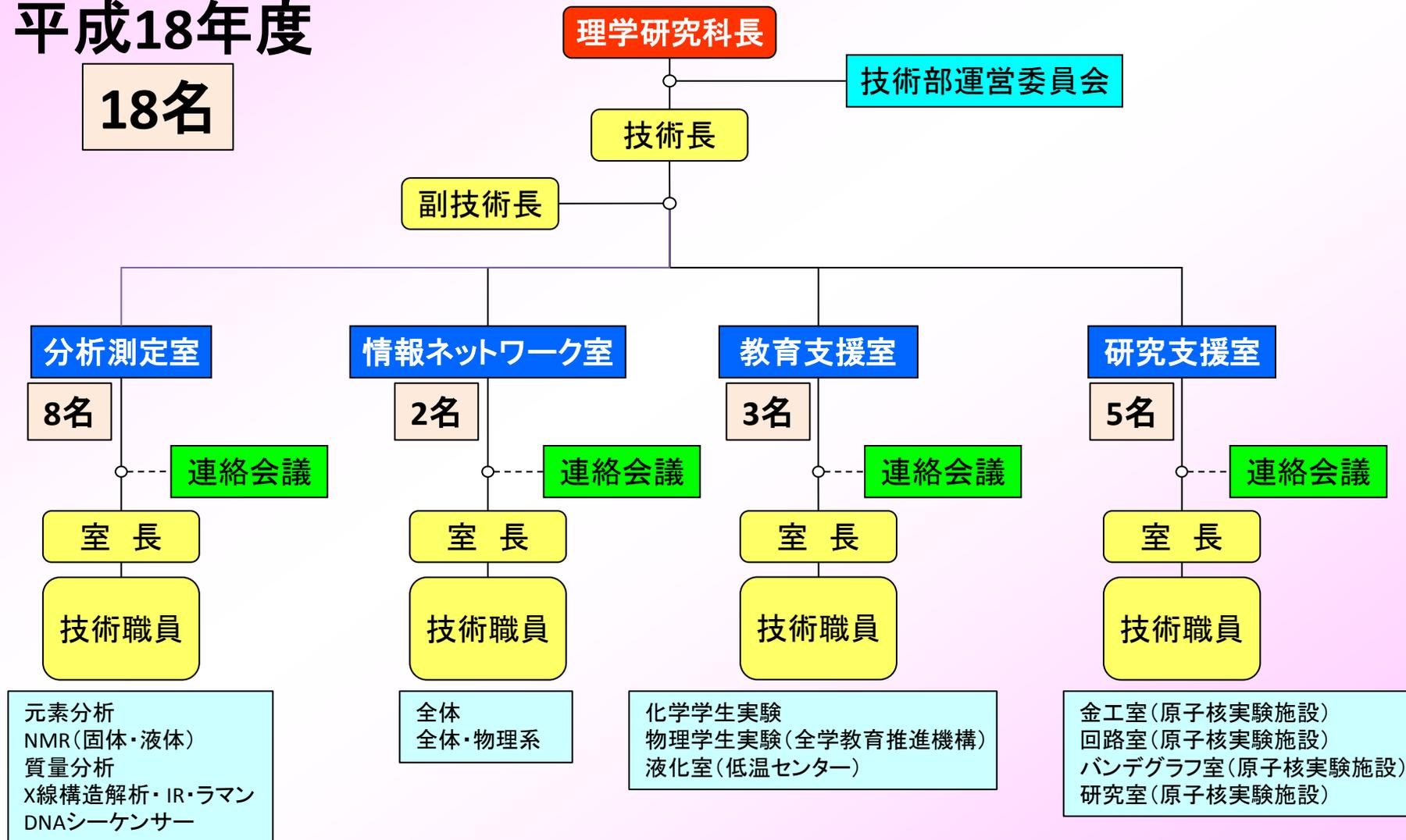


大阪大学理学研究科 技術部組織図

平成18年4月1日

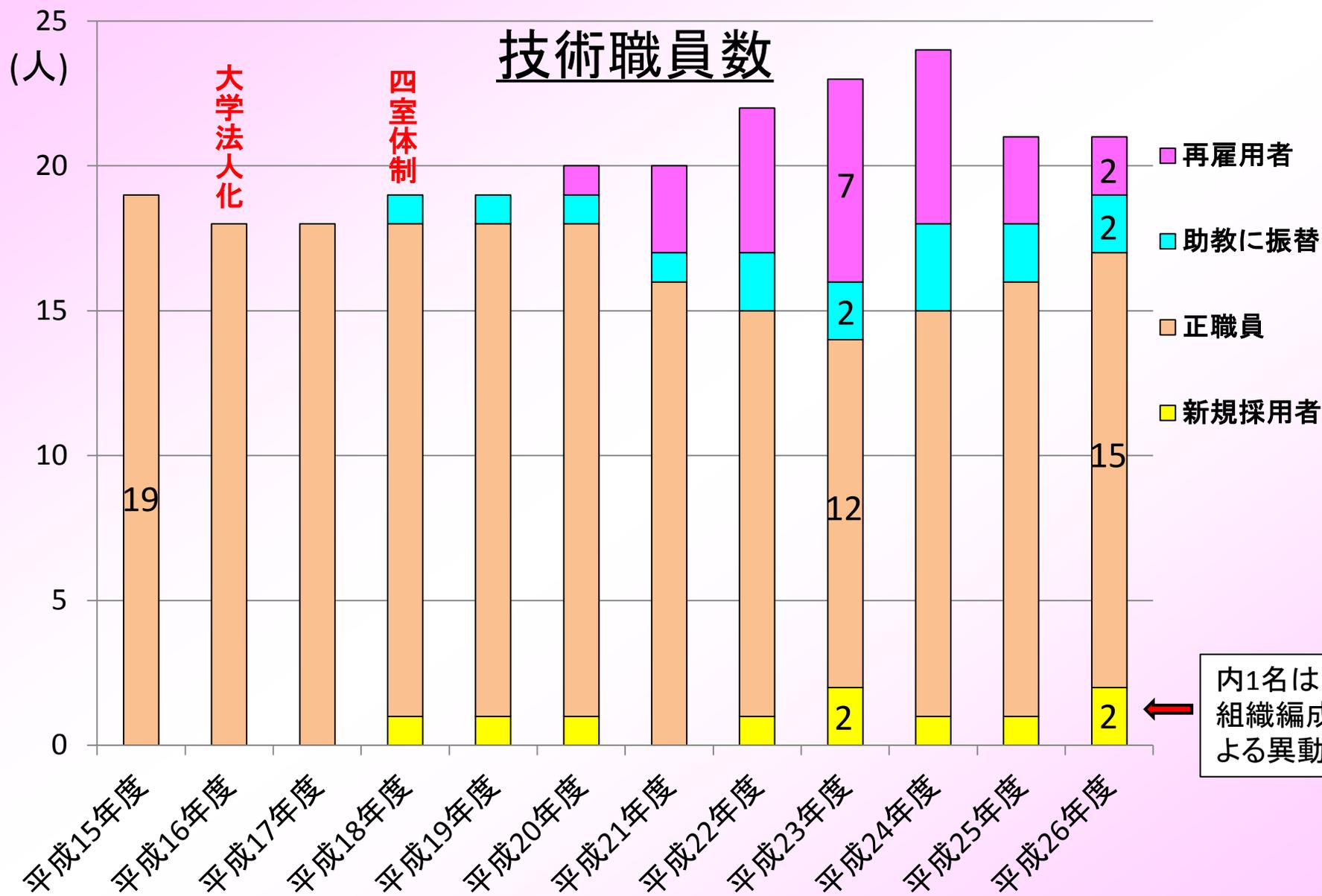
平成18年度

18名



派遣先





再雇用と新規採用

● 再雇用

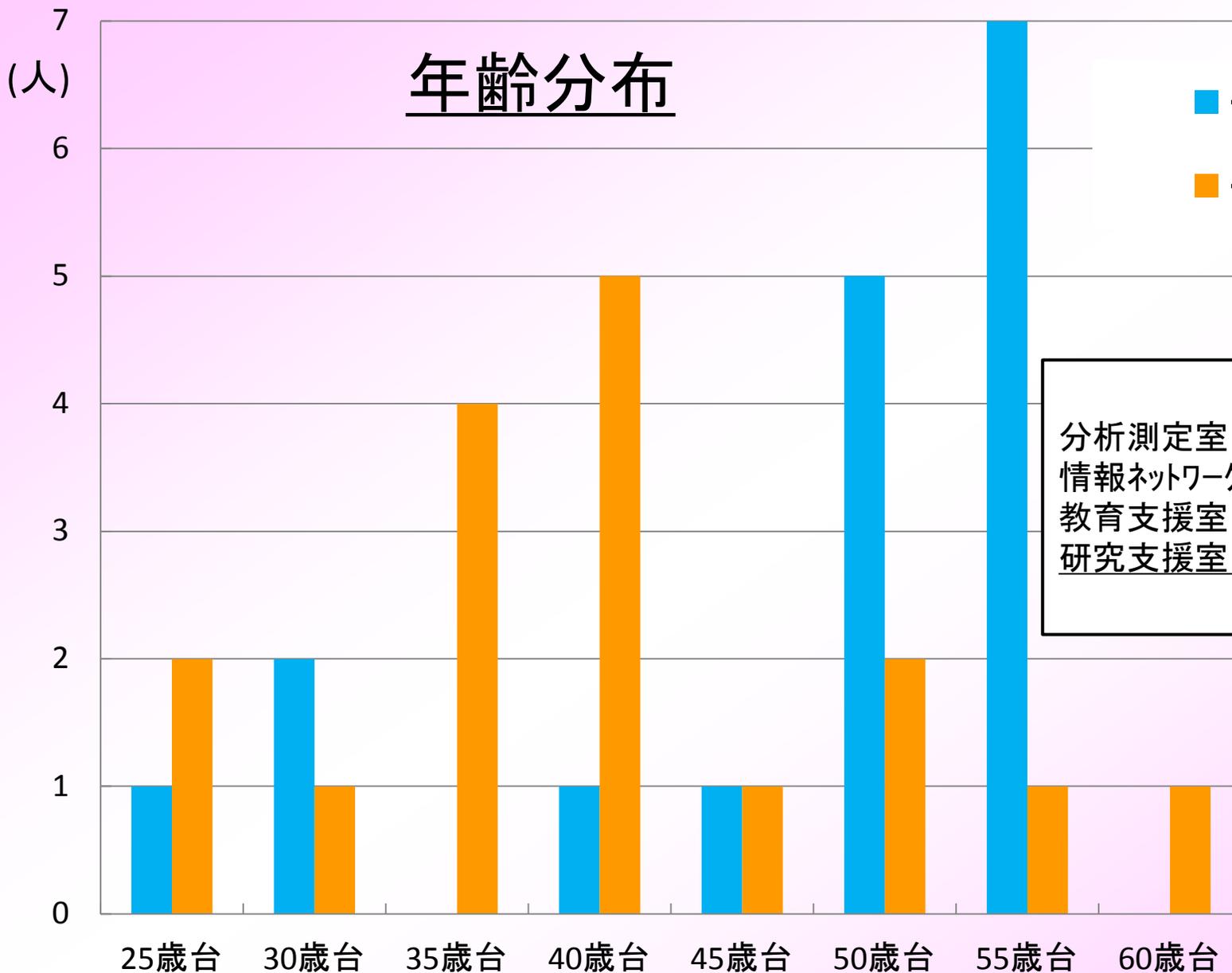
- ・特例嘱託技術職員
- ・技術補佐員
- ・本部の予算
- ・部局の予算
- ・35時間(40時間)
- ・30時間(30時間)

● 新規採用

- ・各室連絡会議委員長
- ・各専攻長
- （技術長
- ・企画調整会議がヒアリングし、決定
- ・採用方法は、主に部局での公募
- 技術職員の要望書
- 任期付き助教の要望書
- 技術職員の要望書)
- ・決定する時期がまちまち（部局の公募、統一採用試験は1回のみ）
- ・即戦力者の採用に傾く
- ・高学歴・高年齢者が多い



年齢分布



■ 平成16年度
■ 平成26年度

	定年者数	採用者数
分析測定室:	6名	5名
情報ネットワーク室:	0	1名
教育支援室:	1名	2名
研究支援室:	4名	1名
計	11名	9名





大阪大学理学研究科 技術部組織図

平成18年度 > **平成26年度**

平成26年12月1日

18名 > **17名** + 2名

理学研究科長

技術部運営委員会

技術長

副技術長

前任技術専門職員

分析測定室

情報ネットワーク室

教育支援室

研究支援室

8 > **5名**

2 > **3名**

3 > **4名**

5 > **5名** + 2名

連絡会議

連絡会議

連絡会議

連絡会議

室長

室長

室長

室長

技術職員

技術職員

技術職員

技術職員

派遣先

元素分析・熱分析
NMR(全般)
質量分析・電子顕微鏡・蛍光X線
X線構造解析・IR・ラマン

全体
全体・物理系
全体・生物系

化学学生実験
物理学生実験(全学教育推進機構)
液化室(低温センター)

元素分析・蛍光X線・SQUID
回路室(基礎理学PRC)
バンデグラフ室(基礎理学PRC)
放射線管理室(基礎理学PRC)
装置準備室(先端強磁場科学RC)
金工室(基礎理学PRC)
研究室(基礎理学PRC)





技術部の体制・人事管理

大学法人化

平成
17年

四室体制

平成
20年

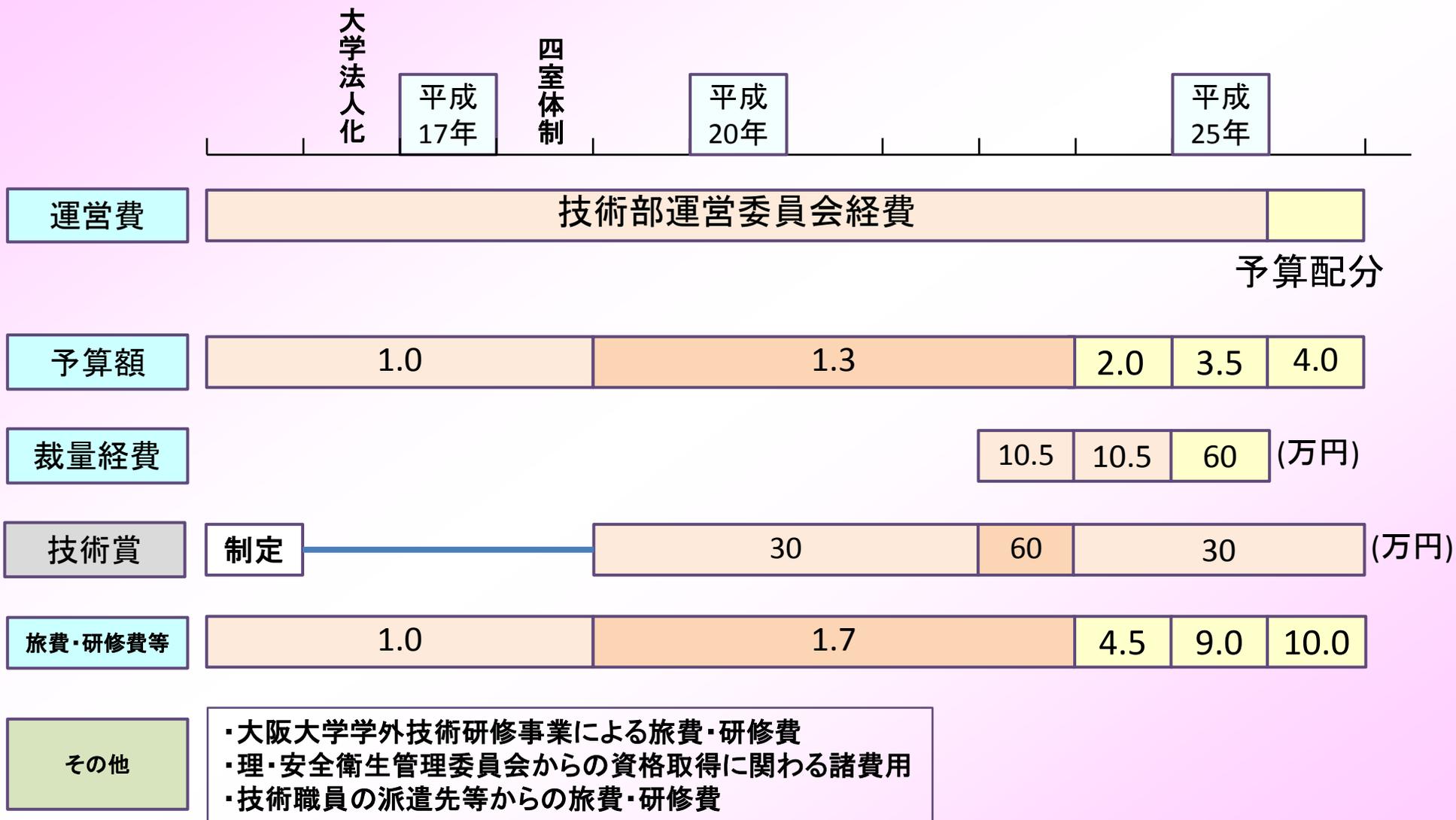
平成
25年

名称	理学部技術部	理学研究科技術部	
運営体制	技術部運営委員会		
組織運営	運営会議	室長会議	
勤務管理	人事係	各自記録簿提出	勤務管理システム
個人面談	年2回面談		
個人計画票	作成		予算申請に反映



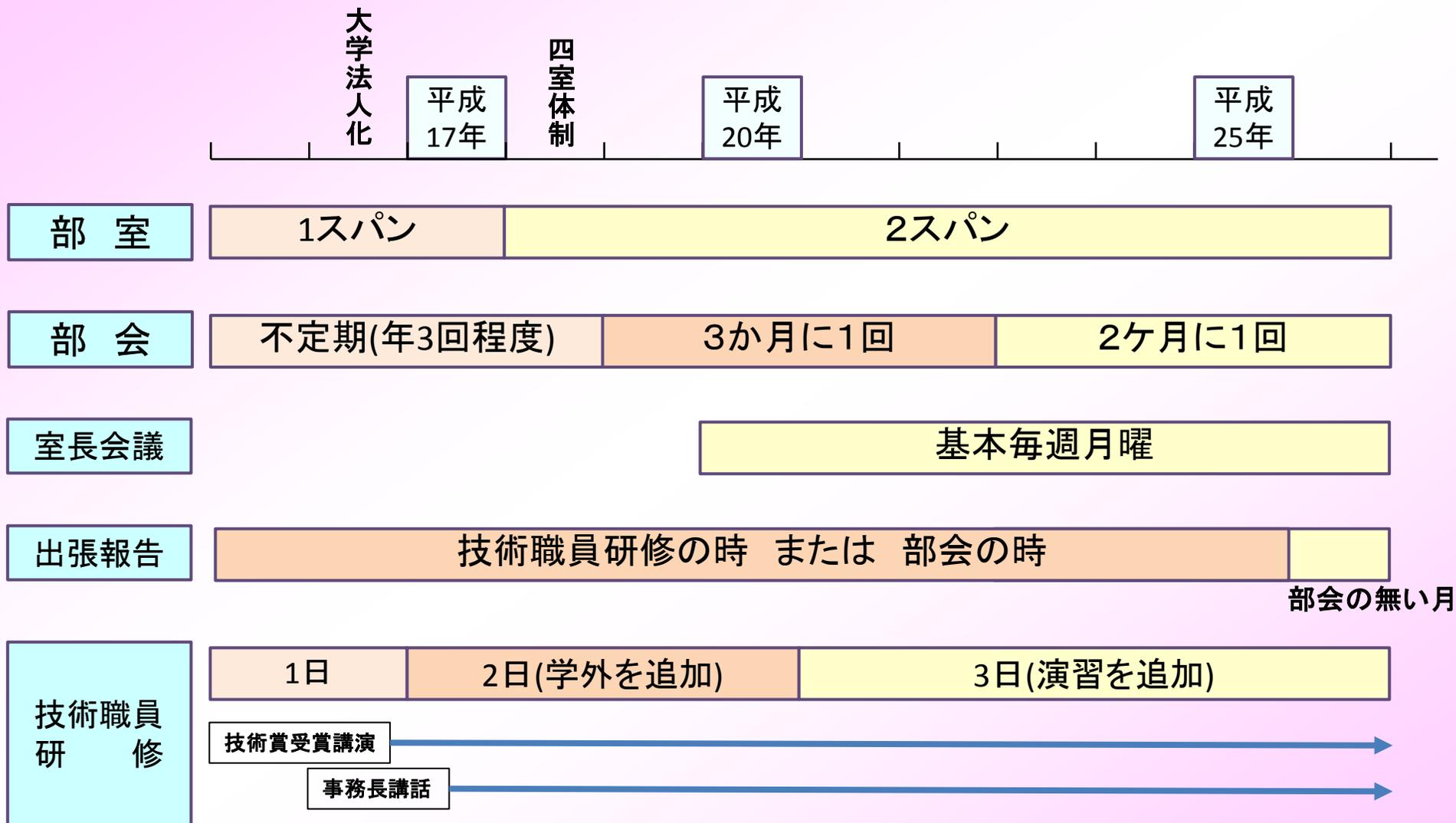


技術部の運営費



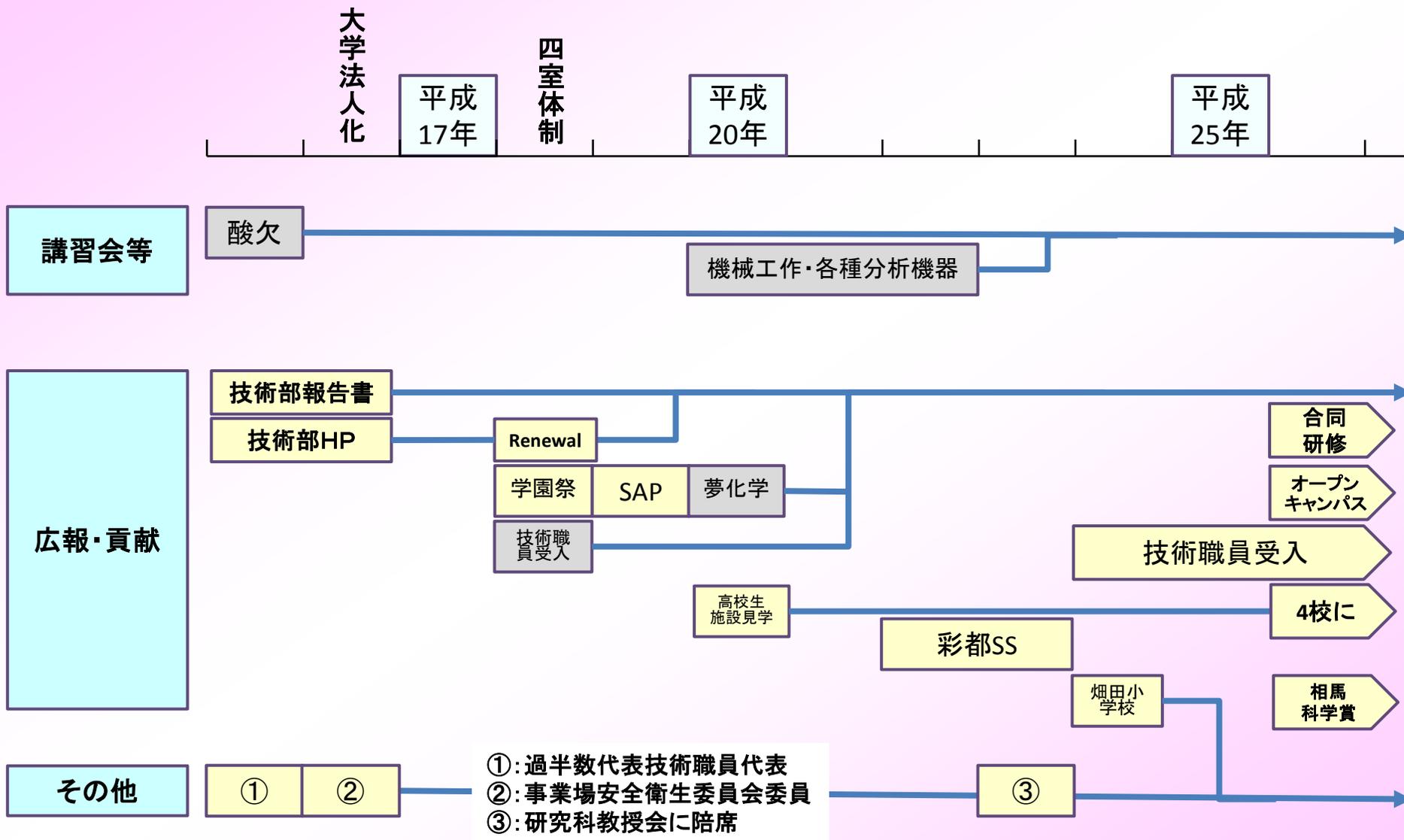


技術部の活動-1





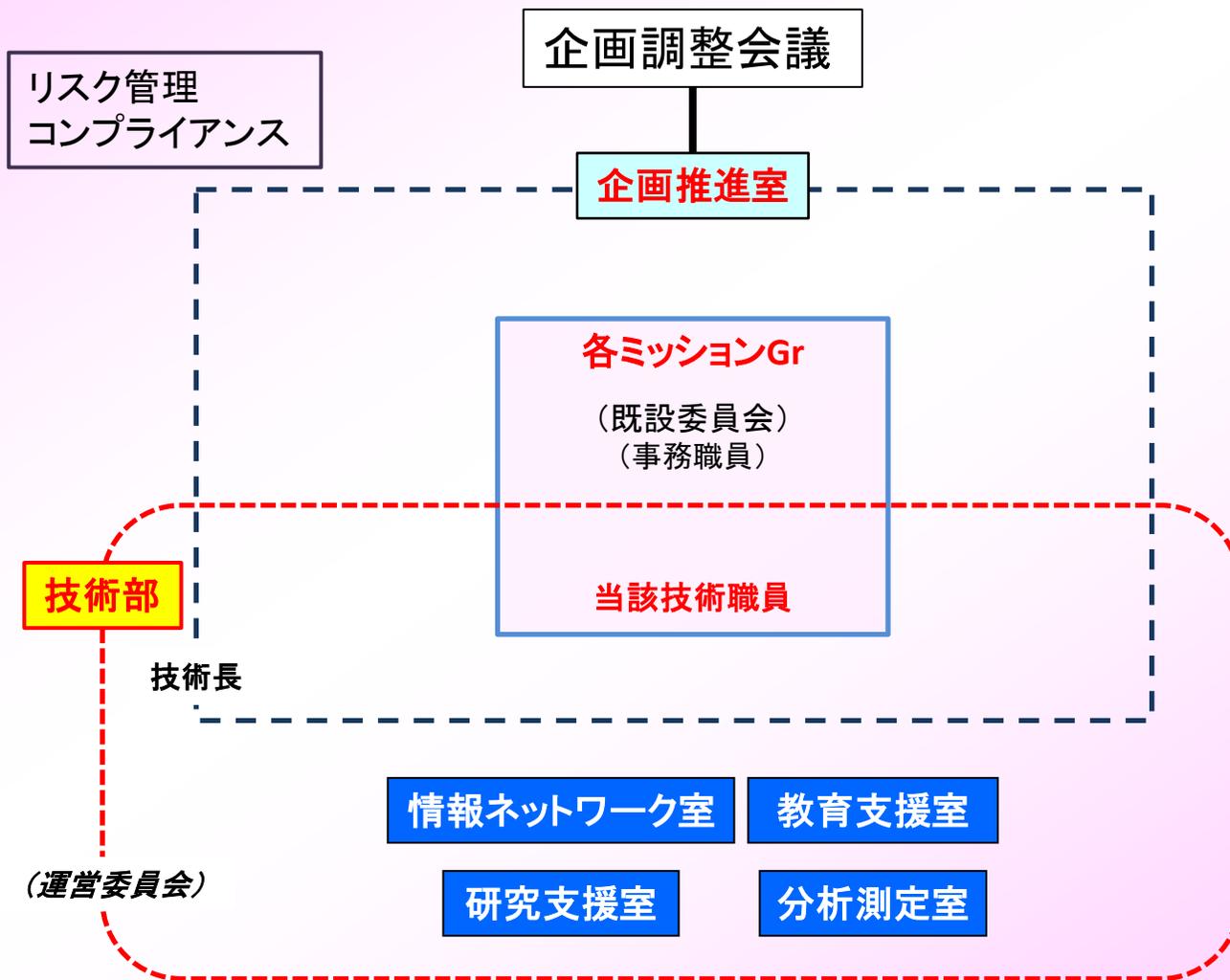
技術部の活動-2





企画推進室の拡張構想案

平成27年4月1日？



まとめ

▪ 法人化前

- 業務は派遣先
- 技術部の足元固め

▪ 法人化後

- 業務は派遣先中心 + α
- 更なる技術部の内部固め
- 技術部外への取り組み

▪ 今後に向けて

- 業務は派遣先 + 部局のミッション？
- 積極的に攻めの業務

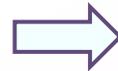
▪ 大学改革の促進

- 教員定数の減少
- 大学のグローバル化
- 大学予算の動向



最後に

- 技術職員の環境
 - 教員定数の減少
 - 大学のグローバル化
 - 教員中心の大学運営
 - 部局毎の技術部組織
- 技術職員の業務内容
 - 業務内容の見直し
 - キャリアアップ？



- 技術職員の待遇
 - 技術職員の評価
 - 生涯賃金の減少
 - モチベーションの維持